

女子高校生が

文学部での勉強・研究、大学生活、将来について
先生・先輩と話してみよう!

もっと知りたい京大文学部

京都大学の学生(学部学生+大学院生)の男女比率は約3:1。比較的女子の多い文学部でも、女子の割合は39%です。

女子のみなさんにも、どんどん大学で活躍して欲しい!

その一歩となるように、大学生活や研究についてもっと知ってもらうためのお話の場です。

*京大データ:<https://www.kyoto-u.ac.jp/explore/data/>

日時 令和7年 3月9日(日) 13:00~16:00

場所 京都大学文学部 文系学部校舎(キャンパスマップ7)1階ぶんこも
京都市左京区吉田本町 京都大学本部構内(吉田キャンパス)

対象 高校1、2年生(女子限定です)

定員 40名程度

右のQRコードからお申込みください。



キャンパスマップ



プログラム

- 13:00 開会
- 13:00~13:20 ご挨拶と講演 天野恭子(インド古典学 准教授)「わたしがサンスクリット語の研究者になるまで」
- 13:20~13:40 辻田明子(西南アジア史学 アカデミックフェロー)「古代メソポタミア学との出会い—京大文学部すみっこぐらし」
- 13:40~14:00 野中成淳(国語学国文学 博士後期課程)「軍記物語の女性たち」
- 14:00~14:15 休憩
- 14:15~14:35 坂田侑美奈(国語学国文学 4回生)「卒論執筆談—『源氏物語』解釈の余白を求めて—」
- 14:35~15:35 座談会 5~6人のグループで、先輩に何でも質問・相談できます!
- 15:35~15:55 座談会のまとめ
- 15:55~16:00 終わりのご挨拶

お茶とお菓子をご用意します



登壇者ご紹介



天野 恭子

京都大学文学部 インド古典学専修 准教授

三千年前につくられた古代インドの宗教文献「ヴェーダ」を研究しています。博士論文として執筆したヴェーダ文献の解説をドイツで出版し、近年はイタリアの大学でも講義をしています。大学生と高校生、4人の子供達の母です。



辻田 明子

京都大学文学部 西南アジア史学専修 アカデミックフェロー

4千年以上前に書かれた楔形文字史料を使い、古代メソポタミアの歴史や宗教を研究しています。生来の文系人間ですが、天文学や物理学、数学などの話を聞くのも好きです。



野中 成淳

京都大学文学部 国語学国文学専修 博士後期課程

『平家物語』を中心に軍記物語の研究をしています。軍記物語は合戦を描いた文学として、男性のための文学というイメージがあるかと思いますが、要所要所にさまざまな女性が登場します。なぜ軍記物語は女性を描くのかというテーマと現在進行形で向き合っています。院生をしながら高校でも国語を教えています。



坂田 侑美奈

京都大学文学部 国語学国文学専修 4回生

平安文学・中世王朝物語に興味を持っており、卒業論文では『源氏物語』を取り扱いました。かねてから大学院に進学したいという思いを抱いており、卒業論文にも満を持して臨んだつもりだったのですが、「研究」とは何かが分かっていなかった私は右往左往してしまい…。卒業論文執筆時の苦労と私が見つけた小さな成果を、皆さんにお伝えできたらと思います。

本イベントは、京都大学男女共同参画推進センター「令和6年度 男女共同参画推進事業 女子中高生向け魅力見える化コンテンツ作成等支援事業」の助成を受けています。 <https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>

主催:文学部・文学研究科有志

共催:人文知連携拠点

お問い合わせ:buncomo@bun.kyoto-u.ac.jp